



地域脱炭素移行・再エネ推進事業

■ 事業について

【目的】

公用車として電気自動車（EV：Electric Vehicle）を購入します。外部給電器を併せて導入することで、災害時に公用車を「動く蓄電池（非常用電源）」として避難所等で活用します。

また、太陽光発電設備を備えた車庫と蓄電池を整備します。発電（蓄電）した電気を電気自動車への充電に使用することで、町が支払う電気代を削減するとともに、環境にも配慮します。

【内容】

電気自動車：2台

外部給電器：2台

車庫：2台分（太陽光パネル一体型カーポート）

充電設備：2台分

蓄電池：1基

必要なお金		4,248万円	
費用の内訳		財源	
設計委託費	522万円	国のお金	1,280万円
工事費	2,932万円	地方債	2,750万円
備品費	794万円	町のお金	218万円

地方債のうち、**1,236万円**が地方交付税として戻ってくる予定です。

